

平成23年度再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。金額がないものは'-'、金額はあるが単位未満のものは'0'で表示している。  
 ◎※を付した年度予算について:年度当初の予算に番号不明被災自動車対応分を補正した後の予算(平成23年8月25日付経済産業大臣及び環境大臣認可)である。  
 ◎\*を付した科目について:会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができることとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
新車購入時預託	476万台	446万台	107%	461万台	16万台	103%
引取時預託(後付預託を除く)	10万台	24万台	41%	12万台	△2万台	82%
合計(A)	486万台	470万台	103%	472万台	14万台	103%
※引取時預託(後付預託を除く)の予算には番号不明被災自動車対応分12万台含む。平成23年度実績は、右欄を参照。						
引取時預託(後付預託のみ)(B)	7万台	12万台	62%	14万台	△7万台	52%
預託台数合計(A)+(B)	494万台	482万台	102%	487万台	7万台	101%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車及び番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異 (a) - (c)
	決算(a)	予算(b)	差異(a) - (b)		
ASR	6,520円	6,640円	△120円	6,660円	△140円
エアバッグ類	2,310円	2,500円	△190円	2,490円	△180円
フロン類	2,020円	2,050円	△30円	2,060円	△40円
合計	10,850円	11,190円	△340円	11,210円	△360円

(3) 品目別の装備率(番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異 (a) - (c)
	決算(a)	予算(b)	差異(a) - (b)		
エアバッグ類	96%	95%	1	95%	1
フロン類	98%	98%	0	98%	0

(4) 金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	52,266百万円	52,048百万円	100%	52,463百万円	△197百万円	100%
※予算には番号不明被災自動車対応分1,315百万円含む。平成23年度の当該収入実績は90百万円。						

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
新車購入時預託	476万台	446万台	107%	461万台	16万台	103%
引取時預託	10万台	24万台	41%	12万台	△2万台	82%
合計	486万台	470万台	103%	472万台	14万台	103%
※引取時預託の予算には番号不明被災自動車対応分12万台含む。平成23年度実績は、右欄を参照。						

(2) 金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	1,118百万円	1,081百万円	103%	1,087百万円	31百万円	103%
※予算には番号不明被災自動車対応分28百万円含む。平成23年度の当該収入実績は2百万円。						

預託金預り収入計

金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	53,384百万円	53,129百万円	100%	53,550百万円	△165百万円	100%
※予算には番号不明被災自動車対応分1,343百万円含む。平成23年度の当該収入実績は91百万円。						

②特定資産運用収入

再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	11,438百万円	11,423百万円	100%	11,194百万円	244百万円	102%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数は、東日本大震災の影響から年度当初は想定を大きく下回ったが、第2四半期以降の新車販売台数の回復及び12月以降のエコカー補助金効果により、預託台数実績は476万台となり予算想定台数を上回った。  
 ○引取時預託台数(後付預託を除く)は、定常分が予算想定12万台に対し、9万台となったことに加え、番号不明被災自動車の発生が予算想定12万台に対し0.8万台となったことから、予算想定を大きく下回った。

《引取時預託台数(後付預託を除く)内訳》

引取時預託(後付預託を除く)	平成23年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
定常	9万台	12万台	75%
番号不明被災自動車	0.8万台	12万台	7%
合計	10万台	24万台	41%

《番号不明被災自動車の総台数見込み》

	平成23年度 決算(a)	総台数 見込み(※)(b)	進捗率 (a)/(b)
番号不明被災自動車	0.8万台	2.3万台	35.7%

○各品目の平均単価は、予算想定を下回った。

○各品目の装備率は概ね予算想定のとおりとなった。

以上の要因から、再資源化等預託金預り収入は概ね予算想定のとおりとなった。

【平成22年度実績との比較】

○新車購入時預託台数は、平成22年度実績を上回った。

○各品目の平均単価は、平成22年度実績を下回った。

○引取時預託台数実績は平成22年度実績を下回った。

以上の要因から、再資源化等預託金預り収入は概ね平成22年度実績のとおりとなった。

《新車購入時預託台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成23年度	78万台	117万台	113万台	168万台	476万台
平成22年度	116万台	138万台	92万台	115万台	461万台

《品目別預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車及び番号不明被災自動車を除いたもの)》

	平成23年度決算		平成23年度予算		平成22年度決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,530円	5,770円	6,660円	5,780円	6,680円	5,780円
エアバッグ類	2,310円	2,230円	2,500円	2,220円	2,490円	2,150円
フロン類	2,020円	2,110円	2,050円	2,110円	2,060円	2,110円
合計	10,860円	10,110円	11,210円	10,110円	11,230円	10,040円

《品目別預託方法別の装備率》(番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成23年度決算		平成23年度予算		平成22年度決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	28%	97%	30%	97%	30%
フロン類	99%	33%	99%	30%	99%	33%

【予算との比較】

預託台数合計が概ね予算想定のとおりとなったことにより、情報管理預託金預り収入は、概ね予算のとおりとなった。

【平成22年度実績との比較】

預託台数合計が概ね平成22年度実績のとおりとなったことにより、情報管理預託金預り収入は概ね平成22年度実績のとおりとなった。

《新車購入時・引取時別の預託金預り収入の内訳》

	平成23年度			
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	
新車購入時預託	52,481百万円	50,657百万円	104%	
引取時預託	定常	812百万円	1,129百万円	72%
	番号不明被災自動車	91百万円	1,343百万円	7%
合計	53,384百万円	53,129百万円	100%	

【予算との比較】

予算想定のとおり。

【平成22年度実績との比較】

概ね平成22年度実績のとおり。

《保有債券残高実績》

平成23年度末残高	平成22年度末残高
8,432億円	8,216億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
ASR	280万台	348万台	80%	379万台	△99万台	74%
エアバッグ類	160万台	200万台	80%	194万台	△34万台	83%
フロン類	233万台	295万台	79%	310万台	△77万台	75%

※各品目の予算には番号不明被災自動車対応分12万台含む。平成23年度実績は、右欄を参照。

(2)品目別の平均単価(番号不明被災自動車を除いたもの)

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	差異(a) - (b)		(a) - (c)	(a)/(c)
ASR	6,180円	6,210円	△30円	6,190円	△10円	
エアバッグ類	2,160円	2,160円	0円	2,070円	90円	
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円	

(3)金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	25,630百万円	32,134百万円	80%	33,976百万円	△8,346百万円	75%

※予算には番号不明被災自動車対応分1,315百万円含む。平成23年度の当該支出実績は18百万円。

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	289万台	352万台	82%	382万台	△93万台	76%

※予算には番号不明被災自動車対応分12万台含む。平成23年度実績は、右欄を参照。

(2)金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	470百万円	572百万円	82%	677百万円	△207百万円	69%

※予算には番号不明被災自動車対応分28百万円含む。平成23年度の当該支出実績は0.8百万円。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	1,564百万円	1,873百万円	83%	1,599百万円	△36百万円	98%

《引取業者引取台数実績》

平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
296万台	357万台	83%	365万台	△68万台	81%

※予算には番号不明被災自動車対応分12万台含む。

《番号不明被災自動車の品目別払渡台数実績》

	平成23年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
ASR	1,724台	120,000台	1.4%
エアバッグ類	2,253台	120,000台	1.9%
フロン類	311台	120,000台	0.3%

《番号不明被災自動車の払渡総台数見込み》

	平成23年度 決算(a)	総台数 見込み(b)	進捗率 (a)/(b)
ASR	1,724台	23,000台	7.5%
エアバッグ類	2,253台	16,100台	14.0%
フロン類	311台	10,400台	3.0%

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成23年度		平成22年度 決算
	決算	予算	
エアバッグ類	57%	56%	52%
フロン類	83%	85%	83%

《予算との比較》

- 引取業者引取台数は東日本大震災の影響からの回復が遅れ、予算想定を大きく下回った。
  - 引取業者引取台数が予算想定を下回ったことにより、各品目の払渡台数も予算想定を下回った。
  - 各品目の平均単価は概ね予算想定のとおりとなった。
- 以上の要因から、再資源化等預託金払渡支出は、予算を下回った。

《品目別の再資源化等預託金払渡支出の内訳》

	平成23年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
ASR	17,309百万円	21,574百万円	80%
エアバッグ類	3,459百万円	4,455百万円	78%
フロン類	4,862百万円	6,105百万円	80%
合計	25,630百万円	32,134百万円	80%

《平成22年度実績との比較》

各品目の払渡台数が平成22年度実績を下回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は平成22年度実績を下回った。

《番号不明被災自動車の払渡台数実績》

	平成23年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
情報管理預託金	3,449台	120,000台	2.9%

《番号不明被災自動車の払渡総台数見込み》

	平成23年度 決算(a)	総台数 見込み(b)	進捗率 (a)/(b)
情報管理預託金	3,449台	23,000台	15.0%

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成23年度決算		平成23年度予算		平成22年度決算	
	払渡台数	比率	払渡台数	比率	払渡台数	比率
130円	195万台	67%	238万台	68%	202万台	53%
230円	94万台	33%	114万台	32%	181万台	47%
合計	289万台	100%	352万台	100%	382万台	100%

《予算との比較》

- 情報管理預託金払渡台数は、予算想定を下回った。
  - 単価230円の払渡台数の比率は概ね予算想定のとおりとなった。
- 以上の要因から、情報管理預託金払渡支出は、予算を下回った。

《平成22年度実績との比較》

- 払渡台数は平成22年度実績を下回った。
  - 単価230円の払渡台数の比率が平成22年度実績を下回った。
- 以上の要因から、情報管理預託金払渡支出は、平成22年度実績を下回った。

《予算との比較》

利息を付与する払渡台数が予算想定を下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は、予算を下回った。

《未払再資源化預託金等利息支払支出の内訳》

	平成23年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
再資源化等預託金払渡支出に付す利息支払支出	1,538百万円	1,843百万円	83%
情報管理預託金払渡支出に付す利息支払支出	26百万円	30百万円	87%
合計	1,564百万円	1,873百万円	83%

《平成22年度実績との比較》

平成23年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率は平成22年度よりも高いものの、利息を付す払渡台数が平成22年度実績を下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は平成22年度実績を下回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率	平成22年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払渡支出計

金額

	平成23年度			平成22年度 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
	27,664百万円	34,579百万円	80%	36,253百万円	△8,589百万円	76%

※予算には番号不明被災自動車対応分1,343百万円含む。平成23年度の当該支出実績は19百万円。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
93万台	96万台	97%	91万台	2万台	102%

(2)平均単価

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)	
11,190円	11,120円	70円	11,140円	50円	

(3)金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
10,421百万円	10,677百万円	98%	10,150百万円	271百万円	103%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
585百万円	619百万円	95%	444百万円	141百万円	132%

【予算との比較】

○輸出返還台数は、概ね予算想定のおりとなった。  
○輸出返還平均単価は、概ね予算想定のおりとなった。  
以上の要因から、再資源化預託金等輸出返還支出は、概ね予算のおりとなった。

【平成22年度実績との比較】

○輸出返還台数は、概ね平成22年度実績のおりとなった。  
○輸出返還平均単価は、概ね平成22年度実績のおりとなった。  
以上の要因から、再資源化預託金等輸出返還支出は概ね平成22年度実績のおりとなった。

《輸出返還台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成23年度	22万台	24万台	22万台	25万台	93万台
平成22年度	22万台	23万台	24万台	22万台	91万台

【予算との比較】

利息を付与する輸出返還台数及び利息の単価がいずれも予算想定を若干下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は、予算を下回った。

《預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成23年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	12万台	11万台	108%
平成17年度	41万台	45万台	92%
平成18年度	25万台	31万台	81%
平成19年度	9.4万台	6.8万台	138%
平成20年度	3.3万台	0.9万台	385%
平成21年度	1.5万台	0.9万台	176%
平成22年度	1.1万台	0.9万台	127%
平成23年度	0.4万台	0.5万台	86%
合計	93万台	96万台	97%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

	平成23年度		
	決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
利息単価	631円	648円	97%

【平成22年度実績との比較】

平成23年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成22年度よりも高いため、未払再資源化預託金等利息支払支出は平成22年度実績を上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率	平成22年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%	1.344%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金輸出返還支出計

金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
11,007百万円	11,296百万円	97%	10,594百万円	412百万円	104%

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)(*)※	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
1,043百万円	2,791百万円	37%	252百万円	791百万円	414%

当初予算(d)※	(a)/(d)
2,857百万円	37%

(\*)会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b)(*)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
65百万円	65百万円	100%	12百万円	53百万円	537%

当初予算(d)
-

(\*)会計規程は、代表理事の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

他会計への繰入金支出計

金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
1,108百万円	2,857百万円	39%	264百万円	844百万円	420%

※予算には番号不明被災自動車対応分1,559百万円含む。平成23年度実績は、右欄を参照。

《出えん等実績》

	出えん等額(※)	
	平成23年度	平成22年度
資金管理人	655百万円	54百万円
指定再資源化機関	98百万円	150百万円
情報管理センター	356百万円	60百万円
合計	1,108百万円	264百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

《平成23年度使途別内訳》

使途別内訳	出えん等先	出えん等額(※)		
		決算(a)	予算(b)	(a)/(b)
情報システムの性能対策費用	資金管理人	559百万円	700百万円	80%
	情報管理センター	356百万円	500百万円	71%
	合計	915百万円	1,200百万円	76%
番号不明被災自動車対応費用	資金管理人	96百万円	1,443百万円	7%
	指定再資源化機関	-	116百万円	0%
	合計	96百万円	1,559百万円	6%
離島対策等支援事業費用	指定再資源化機関	98百万円	98百万円	100%
総計		1,108百万円	2,857百万円	39%

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

【予算との比較】

- 情報システムの性能対策費用は、実施内容の精査等により、予算を3億円程度下回った。
  - 番号不明被災自動車対応費用は、発生台数が予算想定台数を大きく下回ったため、予算を大きく下回った。
- 以上の要因から、他会計への繰入金支出は、予算を大きく下回った。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入

再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
39,689百万円	48,770百万円	81%	47,104百万円	△7,415百万円	84%

※予算には番号不明被災自動車対応分2,902百万円含む。平成23年度の当該収入実績は115百万円。

【予算との比較】

主として、預託金払渡支出の出金額が予算想定を下回ったため、特定資産取崩収入は、予算を下回った。

【平成22年度実績との比較】

主として、預託金払渡支出の出金額が平成22年度実績を下回ったため、特定資産取崩収入は、平成22年度実績を下回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出

再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成23年度			平成22年度	決算対前年度差異	
決算(a)	予算(b) ※	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
61,587百万円	63,415百万円	97%	67,305百万円	△5,718百万円	92%

※予算には番号不明被災自動車対応分1,343百万円含む。平成23年度の当該支出実績は84百万円。

【予算との比較】

概ね予算のとおり。

【平成22年度実績との比較】

主として新車購入時の預託金預り収入の入金額(主に平成23年3月から平成24年2月預託分)が平成22年度実績(主に平成22年3月から平成23年2月預託分)を下回ったため、特定資産取得支出は平成22年度実績を下回った。